

# 地域の終末医療における 多職種協働による口腔ケア支援に関する研究

夏目 長門  
杉本 太造  
竹内 一夫

- 一般社団法人日本口腔ケア学会 理事長
- 一般社団法人日本口腔ケア学会 在宅医療委員会 委員長
- 一般社団法人日本口腔ケア学会 高齢者歯科委員会 委員長



介護施設に入所している歯肉癌患者の口腔

## 要旨

終末期患者の口腔ケアは各職種間の連携が必要であるが、在宅で行われている口腔ケアは特に職種間の連携が十分機能していないのが現状である。この分野には多職種が関わるものの、各職種の役割分担・支援方法については明確になっていない点、解決すべき多くの問題点がある。そこで、(一社)日本口腔ケア学会は地域での終末期医療の口腔ケアを推進するための第一歩として、終末期がん患者に対する口腔ケアの実態を把握するためにアンケート調査を行った。アンケート対象者は日本口腔ケア学会会員と緩和医療に従事している病院・診療所に勤務する医療者である。

調査結果から1.終末期のがん患者の口腔ケアを行うには多職種との連携が重要である 2.口腔に影響する服用薬剤を確認しながら患者に摂食嚥下や口腔機能低下に対するアドバイスを行う在宅訪問薬剤師との連携が不可欠である 3.終末期医療や終末期に対応する口腔ケアを学ぶ機会を充実させなければならないことが示唆された。

## 1.背景と目的

終末期患者の口腔ケアは、各職種間の連携が必要であるが、在宅では特に職種間の連携が十分機能していないのが現状である。現在、終末期を迎える在宅患者への口腔ケアは、多数の職種が関わるものの、誰が何をどこまで行うのか。終末期に関する各職種の役割分担・支援方法については不明な点がある。

そこで、本研究では、終末期医療の口腔ケアに関する実態を調査し、地域における終末期医療の口腔ケアを推進するためのマニュアルを作成することを目的とする。

## 2.活動の方法

「終末期がん患者の口腔ケアに関する実態調査」に関するアンケート調査について、(一社)日本口腔ケア学会会員とNPO法人日本ホスピス緩和ケア協会に正会員登録した病院・診療所に勤務する医療者を対象に行った。

アンケート項目は、①口腔ケアの実施の有無・内容、②口腔評価およびケアの実施場所、③口腔ケアの主な使用物品、④終末期がん患者の予後予測法(PPI〔週単位を予測する指標〕、PaP〔月単位を予測する指標〕)、⑤口腔環境を悪化させてしまう医薬品の認識、⑥PEACE 緩和ケア研修会受講の有無、等である。

## 3.現状の成果・考察

終末期がん患者の口腔ケアに関するアンケート調査を行った結果、183件の回答が得られた。その回答者の職種別の割合は看護師

36%、歯科衛生士22%、歯科医師21%、医師19%であった。

- ①終末期の口腔ケアを行う場所は、病棟66%、在宅24%、外来は8%であった。
- ②終末期の口腔ケアは44%が多職種と連携して行い、14%は自分の職種だけで行われていた。
- ③終末期がん患者の予測法 (PPI、PaP) を活用している割合は42%であった。
- ④口腔環境を悪化させてしまう医薬品を知って、注意を払っている割合は43%で過半数以下であった(図1)。
- ⑤専門職になる教育で終末医療を学んだのは、卒前教育では21%、卒後教育は47%であった。
- ⑥専門職になるための教育で、訪問時の口腔ケアの知識で十分だと思う割合は13%であった(図2)。

#### 【考察】

①本研究結果より、日本では終末期の口腔ケアをすでに行っているが、自分の職種だけで行っている場合が14%であり、今後さらに多職種(医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士等)での口腔ケアの推進が重要と考えられる。

②日本口腔ケア学会では2022年4月に大阪宣言を発出した。大阪宣言とは、「口腔ケアは30年間にわたる多職種の努力で、今では『医療におけるメインストリーム』としての位置を確立した。さらなる口腔ケアの発展には、薬学部の薬剤師教育における口腔ケア領域の充実、および臨床の現場における薬剤師の口腔ケアへの参画が重要であることを宣言する」というものである。

終末期の口腔ケアにおいては、口腔に影響する服用薬剤を確認しながら患者に摂食嚥下や口腔機能低下に対するアドバイスを行う在宅訪問薬剤師との連携が不可欠である。

- ③現状では、終末期医療や終末期に対応

する口腔ケアを学ぶ機会が不足しているため、充実させなければならない。

#### 4. 今後の展望

地域での終末期の口腔ケアを推進するには、終末期医療の理解と口腔ケアを困難にする事象への対応が必要である。そのために専門職の卒前・卒後教育の充実と口腔ケアを実践するためのマニュアル作成の必要性が示唆された。地域での終末期がん患者に対する口腔ケアを推進するために、口腔ケアの方法だけでなく終末期患者への対応方法などをまとめたマニュアルを作成した。

マニュアルの内容は「緩和ケア概論」「終末期がん患者の口腔ケア」「在宅医療における薬剤」「口腔ケア用品の使い方(動画)」(写真1)で構成した。このマニュアルは口腔ケアに関心のある人は誰でも(一社)日本口腔ケア学会のホームページから閲覧可能である。今後は、在宅医療現場から口腔ケアに関わる質問や意見をいただき、医療職・介護職・家族にも役立つマニュアルの内容のさらなる充実を図る予定である。



写真1 歯間ブラシの使い方(動画)

図1 口腔環境を悪化させてしまう医薬品の認識率

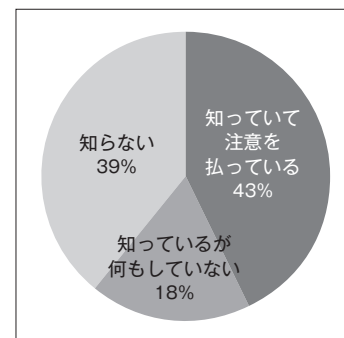


図2 専門職になるための教育で訪問時の口腔ケアの知識として十分だと思う割合

